

## 資料 1 インタビューシート

## 1 属性

- 1-1 年齢(～代)
- 1-2 現在の居住地(都道府県レベル)
- 1-3 学齢期を過ごした地域(都道府県レベル)
- 1-4 あなたが今通っている、または最後に卒業した学校(種類でオーケー)
- 1-5 ※可能であれば 現在の職業について(種類でオーケー)

## 2 セクシュアリティ

- 2-1 あなたの現在のセクシュアリティ
- 2-2 自己のセクシュアリティの認識や行動の軌跡  
自己認識(REACH online 先行研究( )内は平均)
  - ゲイであることをなんとなく自覚した(13.1)
  - 「同性愛・ホモセクシュアル」という言葉を知った(13.8)
  - 異性愛者ではないかもしれないと考えた(15.4)
  - ゲイであることをはっきりと自覚した(17.0)

## 人間関係

- ゲイ男性に初めて出会った(20.0)
- 男性と初めてセックスした(20.0)
- ゲイの友だちが初めてできた(21.6)
- ゲイの恋人が初めてできた(22.0)

## 3 献血

- 3-1 生涯に献血の経験の有無
- 3-2 人生ではじめて献血をした時期
- 3-3 これまで何回献血をしたことがあるか
- 3-4 これまでに献血をしたことがある場所とその印象
- 3-5 高校や大学、職場での、集団献血の経験
- 3-6 最後にした、あるいはこれまでにした献血の動機
- 3-7 献血事前の問診、および問診票について、説明で覚えていること
  - 献血では HIV 検査を実施しない
  - ウィンドーピリオド、セックスに関連する禁忌事項

- 献血でおこる感染事故 リスクはゼロではないという知識・認識
- コールバックシステム
- 3-8 過去の献血教育に触れた機会
- 3-9 周囲の人と献血について話をしたことがあるか
- 3-10 仮想事例
- 職場や学校での、集団献血が実施されたら

#### 4 HIV 検査

- 4-1 HIV 検査をどこで受けることができるか知っているか
- 4-2 生涯 HIV 検査受検経験の有無
- 4-3 人生ではじめて HIV 抗体検査を受けた時期
- 4-4 これまで何回 HIV 抗体検査を受けたことがあるか
- 4-5 これまでに受けたことがある検査機関とその印象
  - 病院
  - 診療所・クリニック・医院
  - 保健所・保健センター
  - 自宅/郵送検査
  - その他
- 4-6 過去1年間に HIV 抗体検査の有無
- 4-7 最後に受けた、あるいはこれまでに受けた検査の動機
- 4-8 HIV 検査を受けにくいと感じたことがあるか？
  - 仮に HIV 検査、健康診断目的で献血を利用しているとすれば、献血でのほうが HIV 検査を受けやすいと感じる理由は
- 4-9 過去のエイズ教育に触れた機会
- 4-10 過去のセクシュアリティ教育に触れた機会
  - 異性間
  - 同性間、セクシュアルマイノリティ

以上

## 資料 2 献血と、特に MSM に関する諸外国のウェブ上での表記の比較

## 1. 【イギリス】

実施団体：National Health Service

<https://www.blood.co.uk/>

参照ページと要約：

<https://www.blood.co.uk/who-can-give-blood/>

一般的な適格性に関する質問項目

受けている治療、服薬状況、イギリス以外への渡航歴、入れ墨、妊娠・出産、疾病、がん、輸血や血液製剤の使用、または臓器移植、年齢、体格

感染症や性行動、薬物使用に関する部分

下記の場合は、献血／血小板献血を提供してはいけません (must not)

- あなたが HIV または肝炎の検査を受ける必要があると思う場合

下記の場合は、決して献血／血小板献血を絶対に提供してはいけません (never)

- あなたが HIV 陽性である

- B 型肝炎に感染している

- C 型肝炎に感染している

- HTLV に感染している場合

- 過去 12 か月以内に、男性とオーラル／アナルセックスをした男性である（コンドーム、または他の予防法を使用していたとしても）

- セックスのために金銭やドラッグを受け取った事がある

- ドラッグを注射した、または注射されたことがある（随分昔、または一度だけでも。筋肉増強剤や、注射可能な日焼け薬を含む。医師の処方約であれば献血可能な場合がありますので、お問い合わせ下さい。）

- 少なくとも過去 12 か月間に (at least 12 months after) に下記の人とセックスをした（コンドーム、または他の予防法を使用していたとしても）

- 下記に該当する、またはあなたがそうではないかと思うパートナー

HIV 陽性

B 型肝炎キャリア

C 型肝炎キャリア

## HTLV 要請

- (あなたが女性の場合) 男性とオーラル／アナルセックスをした男性。(コンドーム、または他の予防法を使用していたとしても) 例外もありますので、お問い合わせ下さい。
- セックスのために金銭やドラッグを受け取った事があるパートナー
- ドラッグを注射した、または注射されたことがあるパートナー (随分昔、または一度だけでも。筋肉増強剤や、注射可能な日焼け薬を含む。医師の処方約であれば献血可能な場合がありますのでお問い合わせ下さい。)
- HIV/AIDS が非常に流行している地域で、セックスをした経験のある、またはあったかも知れないパートナー (アフリカの大部分の国々を含む。例外がありますので、お問い合わせ下さい。)

## 2. 【カナダ】

実施団体 : Canadian Blood Services

<https://www.blood.ca/>

参照ページと要約 :

<https://www.blood.ca/en/blood/eligibility-quiz>

<https://www.blood.ca/en/blood/abcs-eligibility>

一般的な適格性に関する質問項目

年齢、入れ墨、カナダ／米国以外への渡航歴、歯科治療の経験、妊娠・出産、イギリスへの渡航歴、服薬、体重、アルコール、針治療の経験、年齢、アレルギーの有無、抗生物質の使用、ぜんそくの有無、避妊薬の服用、血圧、ピアス、がん、慢性疲労症候群（CFS）、風邪／インフルエンザ、クロイツフェルト・ヤコブ病とその変異型（vCJD）、クローン病、歯科治療、糖尿病、その他の病気、献血間隔、エボラウイルスとの接触機会、初回スクリーニング検査の結果、繊維筋痛、その他健康状態、心疾患、血色素症、ヘモグロビンレベル

肝炎／黄疸

B 型、または C 型肝炎の検査で陽性であった場合、それがいつであっても献血する資格はありません。感染から一度も体調不良、または黄疸が出ていない場合でも同様です。

ウイルス感染以外の原因（例えば、薬物治療、ジルベール病、胆管閉塞、アルコール、胆石、肝臓への外傷）で黄疸や肝炎が起こり、黄疸がなくなれば、献血可能です。

B 型、または C 型肝炎が原因出ない限り、11 歳の誕生日以前での黄疸、または肝炎の病歴がある場合は、献血可能です。

肝炎を患っている、または患ったことがある人と暮らす、または性的な接触を持っていた場合は、お問い合わせ下さい。

HIV

AIDS、または HIV 検査で陽性だったことがある場合、献血してはいけません。また、HIV に感染するリスクがある何らかの経験がある場合も同様です。

HIV の地理的リスク :

アフリカの特定の地域、AIDS を引き起こすウイルス、および新型 HIV に曝された可能性がある地域に住んでいる人は、献血資格がありません。それらの地域に住んでいる人とセックスをしたいかなる人も同様に、献血することはできません。このことは、新種 HIV への

暴露の可能性があるためです。カメルーンやトーゴがこれらの国に含まれます。「旅行」のセクションで、これらの制限についてより詳細な情報が得られます。

HIV ハイリスク行動：

HIV/AIDS に感染する高いリスクに位置づけられるものとして、いくつかの行動があります。これらの行動をとった人は、無期限に献血の実施を見送られる可能性があります。

例として、セックスにより金銭又はドラッグを入手した人は、1977 以来献血することはできません。ストリートドラッグ注射を使用した人も同様です。5 年以上前に男性とセックスをした男性、および他のスクリーニング基準に該当する人は、現在献血資格がある可能性があります。HIV/AIDS リスク関連行動に関する我々の方針について、より詳細を参照下さい。

<https://www.blood.ca/en/about-us/msm-policy>

MSM ポリシー

なぜ、このスクリーニング基準について話し合う必要があるのでしょうか

1980 年代半ばにヒト免疫不全ウイルス、エイズ・ウイルス (HIV) 検査が導入される前、数千人のカナダ人が汚染血液製剤によって感染しました。当時、カナダの血液供給に全責任を負っていたカナダ赤十字は 1977 年以来、全ての男性とセックスをする男性 (MSM) を排除する、ドナー資格基準を導入しました。この基準はカナダ保健省の基準にも組み込まれました。

Canadian Blood Services において、我々は定期的に、MSM に関連する項目を含むドナーの資格基準を見なおしています。2013 年、Canadian Blood Services と Héma-Québec は、カナダの血液 (供給) システムの規制機関として承認を受け、Health Canada は MSM の延期期間を、無期限から、最後に男性と性的接触を持った時から 5 年間に短縮しました。言い換えると、他のドナー資格基準を満たせば、最後に男性とセックスをしてから少なくとも 5 年経っていれば、現在では献血の資格があります。

このポリシーの変更は、科学的小および疫学的根拠の詳細な検証を経て実施されました。血液および血液製剤のヘビーユーザーを代表する患者団体、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスセクシュアル、queer (LGBTQ) コミュニティ団体を含む高い関心を持つグループとの協議も同様に重視されました。

次は？

今日、1 年間の延期期間を支持するに十分な根拠があることを確信しており、このことから 2016 の早い時期に Health Canada 連邦規制局に対して、MSM の延期期間を 5 年から 1 年に

短縮する提案を提出します。これらの漸進的な変更は、可能な限り最小限の制限、かつ血液製剤の安全性維持において、重要なステップとなります。

我々の目的は、患者安全性の優先と、特定の人々のグループへの社会的な影響を最小にするような、長期的なポリシーの答え特定することです。我々はまた、継続的な討論や協議や協議、より成熟した今後のポリシー変更に供する、討論会患者支持団体、LGBTQ コミュニティ団体からの代表を含むワーキンググループを設立しました。また、後述の研究基金にも投資しました。

### 研究基金

基金は、我々が前進的な施策決定を発表するため、更なる情報を獲得することを助けてくれる研究者のためにあります。この機会は、輸血科学における協力の一部として、Canadian Institutes of Health Research (CIHR) との協力によります。より詳細な情報はこちら（リンク先）からご覧いただけます。

### 血液研究の促進

バンクーバー在には（およびそこへ旅行する）多様なドナーは、重要な研究、および Network Centre for Applied Development (netCAD) の開発計画のための献血をする資格があります。Canadian Blood Services は、血液と血液製剤開発研究、および応用開発の世界的なリーダーであり、皆さまの献血は、より進んだ輸血科学の確立のために役立てられます。

### 重要な事実

国によって、HIV 感染のパターン、原因、およびその影響が異なるため、MSM のための最適な（献血）延期期間における国際的な一致した見解はありません。現在、米国やイギリス、オーストラリア、オランダのような重要な血液供給者の多くは、1 年間の延期期間を採用、または施行しつつあります。2014 年、オーストラリアの保健規制当局は、MSM の延期期間を 1 年から 6 か月に変更する提案を却下しました。

### 5 年の（献血）延期期間

MSM は、カナダにおける報告では、新規 HIV 感染の最も大きな割合を占めています。2013 年に導入された 5 年間延期期間は、カナダの MSM のためのドナー資格基準の更新における、堅実な第一歩であり、1977 年以来、かつて 1 度でも男性と性的接触を持ったことのある男性に影響を与えて来た以前の制限に代わるものです。5 年間の延期期間は 2013 年に導入され、Health Canada に更なる延期期間の変更の提案を再提出するためには、最低でも 2 年間

のデータが必要とされます。

#### 血液検査

我々は、HIV の血液検査に抗体検査と核酸増幅検査（NAT）使用しています。2001 年に導入され、それ以来改善が重ねられてきた NAT 検査は、ウイルスに感染した人において HIV が検知されない期間の長さを大いに短縮しています。

しかしながら依然として、HIV が感染している可能性があるにもかかわらず、我々の検査ではウイルスが検知できない、およそ 9 日間の短い期間が存在します。このことにより、我々は、患者保護のための重層的な安全システムの一部として、献血の前に実施するスクリーニングの質問を使用しています。



### 3. 【フランス】

実施団体：Etablissement Français du Sang (EFS) [French National Blood Service]  
<http://www.donusang.net/rewrite/site/39/french-blood-service.htm?idRubrique=1092>

参照ページと要約：

※質問票の内容そのものは見つけれませんでした。FAQ に関連項目がありましたので抜粋します。

BLOOD DONATION

<http://www.donusang.net/rewrite/heading11/1123/blood-donation.htm?idRubrique=1123>

FAQ

<http://www.donusang.net/rewrite/heading/1155/blood-donation/faq.htm?idRubrique=1155>

一般的な適格性に関する質問項目

鎮痛剤、抗生物質、献血間隔、年齢、体重、体調、旅行歴、イギリスへの滞在歴、日焼け、入れ墨、歯科治療、輸血経験

私生活

Q：過去 3 か月の間にセックスパートナーを変えたのですが、献血できますか？

A：新しいセックスパートナーができた場合は献血する前に、最後に予防しない性的関係を持ってから 4 か月待って下さい。

Q：AIDS のスクリーニング検査は実施していますか？

A：HIV スクリーニング検査は、フォローアップ検査の間に実施されるテストの一部として実施されています。しかしながら、人々は利便性から、無料かつ匿名のスクリーニング検査センターや、民間の医療分析研究所などに行くことを望み、決して我々EFSの献血センターには来たがりません。Silent Periodの存在により、ハイリスク行動の後に、単にHIV検査のために献血センターに行くことは、そのようなドナーの血液を受け取る患者の健康を危険に晒します。“serological window”とも呼ばれるこの期間の間、いかなる検査によってもウィルスはまだ検知できず、あなたはウィルスを保持している事になります。

Q：なぜ医療検査を受けなければならないのでしょうか？

A：各ドナーは、献血に先立ち医学的な問診と臨床検査を受ける必要があります。このこと

は最適な安全性を保障するために必要な段階であり、患者とドナー両者のためのものです。事実、人がウイルスや病原体に感染した時点と、検査により検知可能となる時点の間には、常に一定の期間が存在します。この期間は serological window と呼ばれます。問診において、医師はドナーに健康と個人的な生活について質問し、ドナーがウイルスや病原体と接触した可能性があるかを特定します。安全性を確保するために重要な事の一つとして、問診においてドナー候補者が正直かつ誠実であることがあります。提供されたあらゆる情報は、医療上の機密の範囲であり、ドナーと医師の間には完全な信頼と尊敬が存在します。

#### 【参考情報】

<http://www.reuters.com/article/us-france-blood-homosexuals-idUSKCN0ST1Z520151105>

フランスでゲイ男性からの献血禁止法を廃止 Wed Nov 4, 2015 7:08pm EST

フランスは、HIV のような病気の感染拡大を止めるための手段として 30 年以上施行してきたゲイ男性からの献血禁止の法律を廃止することを決めた。

保険相 Marisol Touraine は水曜日、性的指向に基づく潜在的なドナーに対する差別は、ゲイ男性は全て HIV に感染しているという推定によるものであり、許容できないと発言した。

「献血は性的指向によって条件づけることが出来ない一般的な行動である。」Touraine はスピーチの中で、この問題に取り組むと発言した。

「私に提出された提案により、私は男性とセックスをする男性からの献血の排斥を終わらせると決めた。」

Touraine は、ゲイ男性からの献血は、フランスにおいて来春から許可され、既に実施されている厳格な条件下で監視されると述べた。

いかなる性的な関係を持っていない、または過去 4 か月間 1 人の男性とのみ性的関係を持った男性は、献血を許可されるだろうと、フランス保険相は述べた。

フランスのゲイ男性は、ヨーロッパの中で最も HIV の感染率が高い。the Luxembourg-based Court of Justice of the European Union (ECJ)によると、2003 年から 2008 年間の新規感染者の半数は、MSM であった。

4 月に裁判所は、MSM からの献血の禁止は、厳格な必要性と深刻な感染症の伝播を防ぐための代替策が無い場合にのみ正当化することができるとの判決を下した。

EU の法律の下では、性的な行動により深刻な感染症にかかる高いリスクにある人々は無期

限に献血が禁止される可能性がある。

U.S. Food and Drug Administration は 2014 年に、献血の前に 1 年間男性とのセックスを控えた男性に対しては、献血の禁止を軽減することを勧告し、イギリスやオーストラリアにおいても同様の方針が勧められている。

#### 4. 【オーストラリア】

実施団体：Australian Red Cross Blood Service

<http://www.donateblood.com.au/>

参照ページと要約：

<http://www.donateblood.com.au/eligibility>

一般的な適格性に関する質問項目

年齢、入れ墨、妊娠・出産、心疾患、鉄分（貧血）、イギリスへの渡航歴、快樂のための薬物使用、海外への渡航歴、

<http://www.donateblood.com.au/faq/sexual-activity>

性行動—私の献血資格に影響を及ぼす性行動にはどのようなものがある？

無防備なセックスによって感染した可能性があったと思うなら、あなたは献血してはいけません。我々は、全ての献血された血液に対して特定の感染症の検査をします。しかし残念ながら、完璧な検査はありません。

加えて、セーフセックスの実践が HIV や他の性感染症の予防に有効であっても、”防護されたセックス”は 100%有効ではありません。よって、我々 Blood Service の性行動に関するガイドラインは特定の集団における高い感染率に基づいています。

以下の質問に対する答えが”yes”であった場合、これらのいかなる性行動の最後の機会から 12 か月後まで、あなたは献血をすることが出来ません。

- HIV または AID に感染したかもしれないと思ったことがありますか？
  - 過去 12 か月の間、以下の質問に対しての回答が”yes”となる可能性があるかとあなたが考える人と性行動を行いましたか？
  - 医師または歯科医師によって処方されたものではないドラッグを注射しましたか？
  - HIV、B 型肝炎、C 型肝炎、またはヒト T リンパ球向性ウイルス（HTLV）に感染していますか？
  - 血液凝固因子による治療を受けましたか？
  - 最後に献血してから、または過去 12 か月の間、海外に居住している／以前住んでいた新しいパートナーと性行動を行いましたか？
  - 過去 12 か月の間：
- 男性とオーラル／アナルセックスをしましたか？コンドームを使用した”セーフセックス”であっても該当します。（あなたが男性の場合）

あなたが（コンドームを使って／コンドームなしで）男性とオーラル／アナルセックスをした可能性があると思う男性と（コンドームを使って／コンドームなしで）セックスをしましたか？

男性／女性のセックスワーカーでしたか？（例えば、金銭、品物、またはドラッグでセックスに対する支払いを受け取りましたか？）

男性／女性のセックスワーカーとセックスをしましたか？

あなたが献血出来ない場合、それは医学研究に基づく安全上の理由のためです。我々Blood Service は性的指向に基づいた差別は行いません。

## 5. 【アメリカ】

実施団体：American Red Cross

<http://www.redcrossblood.org/>

参照ページと要約：

<http://www.redcrossblood.org/donating-blood/eligibility-requirements/eligibility-criteria-alphabetical-listing>

### 一般的な適格性に関する質問項目

針治療、年齢、アレルギー、体調、抗生物質、アスピリン、喘息、経口避妊薬、出血について（抗凝固材の使用）、血圧、輸血経験、がん、慢性疾患、かぜ・インフルエンザ、歯科・口腔外科治療、糖尿病、献血間隔、心疾患、血色素症、貧血、ホルモン補充療法、感染症、インスリン、静脈注射、マラリア、服薬、臓器／組織移植、ピアス（耳、身体）、電気分解治療、妊娠、鎌状赤血球形質、皮膚病、外科手術、皮膚病・発疹・にきび、入れ墨、合衆国外への渡航、移住、結核、体重

### 感染症や性行動、薬物使用に関する部分

#### クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）

硬膜移植を受けた、または下垂体成長ホルモンを受けた場合、輸血資格はありません。また、クロイツフェルト・ヤコブ病にかかった血縁者がいる方も、献血資格はありません。詳細についてはこちら（CJD リンク）

#### 変異型クロイツフェルト・ヤコブ病

合衆国外への渡航経験についてこちらをご覧ください（vCJD と献血についてリンク）

### MSM の献血延期期間

2015/12/21、U. S. Food and Drug Administration (FDA) は MSM における献血延期期間の最終ガイダンスを発行しました。AABB, America's Blood Centers、および赤十字は、MSM の延期期間を無期限から 1 年間に変更する FDA の決定を支持します。この方針の変更は、MSM ドナーの延期期間を、輸血により伝播する感染症と同様のリスクに晒される可能性のある他の行動と合致させるものです。

赤十字は、献血資格の見直しプロセス決定のために勤勉に励んでいます。MSM 献血ポリシーにある FDA 最終ガイダンスには、事前に延期期間を満たしたドナーの献血を可能にする道

について記されています。しかしながら、我々赤十字では、コンピュータシステムの更新や工程や手順の修正、およびスタッフの訓練に数ヶ月の期間が必要となり、これらの変更は影響を受けるドナーの献血受け入れの先立ち実施される必要があります。

献血は出来ないのですか？

あなたは我々に金銭的な寄付をして赤十字の最大の必要性（赤十字の財政？）を支援することで、危機に直面した人々を助けることが出来ます。

あなたの寄付は、血液供給、支援を必要としている家族に対する人道的援助、人命救助法を教えることによるコミュニティ整備などの、赤十字事業の継続を確保します。

（こちらのリンクから）今すぐ金銭による寄付をお願いします。

### 肝炎、黄疸

ウイルスによる肝炎、11歳以降の原因不明の黄疸があった場合は、献血資格がありません。サイトメガロウイルス性の肝炎(CVM)、エプスタイン・バーウイルス(EBV)、ウイルスによる単核症も同様です。

例えば薬物治療、ジルベール病、胆管閉塞、アルコール、胆石、肝臓の外傷などによる黄疸、またはウイルス感染以外による肝炎であった場合は献血可能です。B型肝炎、C型肝炎の検査結果が陽性であった場合は、それが何歳の時期であっても、たとえ感染によって一度も体調が悪化したり黄疸がでたりしたことがなかったとしても、献血資格はありません。

献血は出来ないのですか？

あなたは我々に金銭的な寄付をして赤十字の最大の必要性（赤十字の財政？）を支援することで、危機に直面した人々を助けることが出来ます。

あなたの寄付は、血液供給、支援を必要としている家族に対する人道的援助、人命救助法を教えることによるコミュニティ整備などの、赤十字事業の継続を確保します。

（こちらのリンクから）今すぐ金銭による寄付をお願いします。

### 肝炎への曝露

肝炎にかかっている人と住んでいる、または性的接触があった場合は、最後の接触の機会から12カ月待たなければなりません。

施設に（少年拘留所、留置場、刑務所、監獄に連続して72時間（3日）以上拘留、または

収監されたことがある人は、最後の拘留日から 12 か月献血資格が延期されます。通勤刑、週末刑も同様です。これらの人々は、感染症へのハイリスクの暴露があるとされます。

輸血（自身の自家輸血を除く）、非滅菌の針によるピアスや他人の血液への暴露から 12 か月、献血を待ってください。

献血は出来ないのですか？

あなたは我々に金銭的な寄付をして赤十字の最大の必要性（赤十字の財政？）を支援することで、危機に直面した人々を助けることが出来ます。

あなたの寄付は、血液供給、支援を必要としている家族に対する人道的援助、人命救助法を教えることによるコミュニティ整備などの、赤十字事業の継続を確保します。

（こちらのリンクから）今すぐ金銭による寄付をお願いします。

## HIV、AIDS

AIDS を発症している、または以前 HIV 検査で陽性となった場合、または自身を HIV に感染する危険に晒す行為をした場合、献血してはいけません。

自身を HIV に感染する危険に晒す行為とは：

- ドラッグ、ステロイド、または医師から処方されたもの以外のあらゆる薬物を注射したことがある
- 1977 年以来一度でも男性と性的接触を持ったことのある男性である
- 1977 年以来、セックスの対価として、金銭、ドラッグ、またはその他の支払いを受けたことがある
- 前述の事項に該当するあらゆる人と 12 か月以内に性的接触を持ったことがある
- 血友病などの出血性疾患のために、凝固因子製剤を投与されたことがある

HIV/AIDS の兆候、または症状の可能性のある以下のあらゆる健康状態にある場合、献血してはいけません。

- 原因不明の体重減少（2 か月足らずで 10 ポンド= 4.536kg 以上）
- 寝汗
- 口内または皮膚にある青、または紫の斑点
- 口内にある白い斑点、または普通ではない痛み
- 1 か月以上続く、首、脇の下、足の付け根、のしこり



- 止まらない下痢
- 止まらない咳と息切れ、または
- 100. 5F (=38. 05556°C) 以上の熱が 10 日以上続く

献血は出来ないのですか？

あなたは我々に金銭的な寄付をして赤十字の最大の必要性（赤十字の財政？）を支援することで、危機に直面した人々を助けることができます。

あなたの寄付は、血液供給、支援を必要としている家族に対する人道的援助、人命救助法を教えることによるコミュニティ整備などの、赤十字事業の継続を確保します。

（こちらのリンクから）今すぐ金銭による寄付をお願いします。

### 性感染症

梅毒、または淋病治療の後 12 か月待って下さい。

梅毒、淋病の完治後 12 か月以上経っていれば献血可能です。

クラミジア、性的疣贅（ヒトパピロマウイルス）、または性器ヘルペスについては健康的で良好な状態であると感じており、他の適格性を満たしていれば、献血の延期期間の原因とはなりません。

献血は出来ないのですか？

あなたは我々に金銭的な寄付をして赤十字の最大の必要性（赤十字の財政？）を支援することで、危機に直面した人々を助けることができます。

あなたの寄付は、血液供給、支援を必要としている家族に対する人道的援助、人命救助法を教えることによるコミュニティ整備などの、赤十字事業の継続を確保します。

（こちらのリンクから）今すぐ金銭による寄付をお願いします。

★ベルギー、スウェーデンについては英語での情報が web 上から見つけられなかった。

## 9

## 海外における献血推進の実状と効果的な施策のあり方に関する研究

研究分担者：河原 和夫（東京医科歯科大学大学院 政策科学分野）

研究協力者：菅河真紀子（東京医科歯科大学大学院 政策科学分野）

松田 利夫（北里大学・薬学部・社会薬学部門）

## 研究要旨

本研究では、世界各国の血液事業の中で、国情が日本に類似している国を選択して献血推進方策や献血教育の実態を調査して、わが国の献血事業の推進に寄与するための最適解を検討した。インターネットによる文献収集、学会資料による収集、そしてベルギー王国と台湾（中華民国）を訪問調査した。

ベルギーでは、25歳以下の献血者の占有率が高く、わが国の実態とは異なっていた。また、ベルギー赤十字社は、中学校、高校、大学での献血活動や学校のイベント支援を熱心に行なっており、こうした活動は、初回献血者のみならず複数回献血者の確保に有効であった。さらにコールセンターを設置して、広く勧誘を行っている。

台湾の2014年の献血率は7.5%とわが国より高く、人口1,000人当たりの採血量は24.43L（日本は10.94L）も多い国である。この背景には、中学校からの献血教育の充実と献血思想の普及があると考えられる。台湾もわが国と同様に少子高齢社会に入り、将来の献血者の減少が危惧されている。しかし、「我若く！ 我捐血！（私は若い！ だから献血します!）」のスローガンのもと企業、スポーツ選手や芸能人などの有名人、さらには馬英九総統に至る歴代総統が率先して献血活動を国家レベルで進めている。

わが国でもこれら2国と同じような献血推進事業を行なっているが、方法や効率性の観点からの見直しが必要であろう。さらに国家の上層部の献血事業への関心の高さは参考に値する。

## 目的

医療を遂行する上で必要な血液の確保の方策は、世界的に見て「献血方式」と「売血方式」あるいはその「混合方式」から構成されている。また、その国で血液事業を自立的に運用しているところもあれば、自立できずに外資により採血のみが行われている国もある。

本研究では、世界各国の血液事業の中で、国情が日本に類似している国を選択して、研究対象国の高齢化などの社会的課題、それと対峙する血液事業の現況、献血推進方策や献血教育、社会において血液事業の認知度を上げるための対策などを調査し、その特徴を多角的に検討してわが国の献血事業の推進に寄与するための最適解を検討するものである。

## 方法

調査方法としては、インターネットによる文献収集、学会資料による収集、そして対象国を訪れて

の資料収集や担当者への聞き取り調査を行なった。平成27年度研究では、ベルギー王国と台湾（中華民国）を調査対象国とした。前者は、平成27年9月に、後者は平成28年1月に訪問した。

ベルギー王国については、フランダース地方のBrugge血液センターを訪問して調査した。平成18年の参考資料（後述）では同血液センターは、1997年に周辺のセンターを集約して設立され、年間献血者数は約7万人であった。

職員数は110名（常勤＋非常勤）、常勤換算で56名である。業務は早朝から夜間まで2交代制であった<sup>1)</sup>。

台湾については、台湾血液基金を直接訪問して献血推進活動を含めた台湾の血液事業についての聞き取り調査を行なうとともに、併せて採血現場等の施設見学を行なった。

（倫理面への配慮）

本研究遂行に必要な統計資料等は、公表されたものを用いたため、人を対象とする医学系研究に関

する倫理指針等の対象外である。

## 結果

### 1) ベルギー王国

#### (1) 国土の概要

立憲君主制の国家であるベルギー王国の国土面積は 30,528 平方キロメートル、人口は約 1,125 万人である。首都はブリュッセルに置かれ、使用言語はオランダ語、フランス語、およびドイツ語である。

北部のオランダ語系住民と南部のフランス語系住民の対立のため、1993 年にフランダース地域とワロン地域およびブリュッセル首都圏から構成される連邦制に移行している。日本にはフランダースおよびワロン地域双方を代表する大使館が設置されている(図 1)。

図 1 ベルギー王国の言語分布



出典:

[http://homepage3.nifty.com/iwayanagihome/belgium\\_map.htm#](http://homepage3.nifty.com/iwayanagihome/belgium_map.htm#) ベルギーの言語

#### (2) 血液事業

ベルギーの血液事業は、オランダ語(フランドル語)圏のフランダース地方の赤十字社とフランス語圏のワロン地方の赤十字社の2つの赤十字社により行なわれている。他に許可された2つの病院において採血と輸血用血液製剤の製造がなされている。この2つの圏域は、独立性が強く、それに応じて両赤十字社も独立性が強い。

以下の写真は、フランダース地方の Brugge 血液センターの概観である。



### ①血液事業をめぐる法制度

EU 加盟国であるベルギー王国の国内法は、EU から発出される EU 指令に拘束される。『EU 加盟国の血液の品質および安全対策』については、2002 年 11 月に EU 指令が出されている<sup>2)</sup>。一方、ベルギー国内では 1994 年に『ヒト由来の血液および血液成分に関する法律』が制定されているが、この EU 指令と内容の整合性を図るために改正され現在に至っている<sup>3)</sup>。

ベルギー王国のヒト由来の血液および血液成分に関する法律』の第 5 条では、血液および血液成分の採取は、自発的かつ無報酬のドナーの同意を得てのみ行うことができることや有償採血の禁止が原則として盛り込まれている<sup>4)</sup>。

### ②献血可能年齢

『ヒト由来の血液および血液成分に関する法律』の第 9 条により、献血は 18 歳から可能となる。上限年齢は 70 歳であるが、しかし、計画的自己血輸血を目的とする採血は 71 歳誕生日以降でも行うことができる。2 単位赤血球採血を含むアフレーシスによる採血は 66 歳未満の個人のみで行うことができる<sup>5)</sup>。

18 歳未満でも、医学的必要性、本人の同意、親権者または法定代理人による文書による同意、による署名入り承認、そして医師の同意といった条件が揃えば、献血が可能となることもある。

### ③採血量

全血献血については、オランダ語圏のフランドル支部では 400ml と 470ml の 2 種類ある (参考: フランス語圏では 430ml と 450ml と 470ml の 3 種類)。

フランドル支部における年間可能献血回数は、全血が年 4 回 (平均 2 回)、成分献血は、血漿採血が、年間 26 回を限度として 1 回あたりで 650ml の採血が行われている。血小板採血は、年間 18 回が上限となっている。なお、平均的な成分献血回数は、血漿採血および血小板採血ともに 5 回である。

### ④献血者の特性

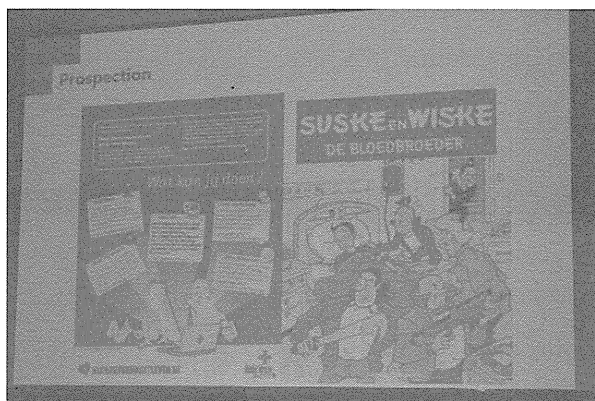
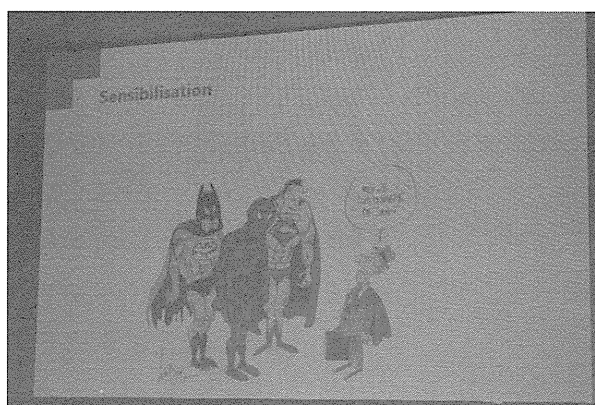
30 および 40 歳代の年齢層の献血者が多い。全体としてわが国より若年層の献血者が多いと考えられる。

### ⑤献血者の確保

献血者の確保は、次の 4 段階で行なわれている。それは、Sensibilization (感化)、Prospection (展開)、Retention (維持)、そして Lookout (見守り) である。

広報、テレビやラジオ、新聞などのマスメディアを通じて広く献血を呼びかけている。WHO が定めた世界献血デーには「経済界の本部を通じて企業経営者等に企業あげての献血」の働きかけ、「ベルギーの有名人を起用した献血キャンペーン」の展開、そして「赤十字による記者会見」を行なっている。

ベルギー国内の主要都市や地方政府では、各種のフェスティバルやイベントの機会を利用して献血者の確保が行なわれている。また、次の写真のように献血推進のためのヒーローを設定した漫画 (コミック) も発刊している。



オランダ語圏支部は、休日の人件費が高いことから土・日・祝日の献血業務は行っていない。

わが国と同じく、ベルギー赤十字社は、中学校、高校、大学で献血を行うとともに、これら学生に対する献血勧誘活動を行っている。加えて、学校での献血教育も盛んである。

小学校では、小教室で生徒と親、そして教師を